

大宮神社社報

社報第24号
大宮神社
大阪市旭区大宮
三のの一の三七

御代替り 平成から令和へ

四月三十日火曜日 天皇陛下ご譲位
五月一日 水曜日 新天皇陛下践祚

このたび平成の御代替りにより新元号は令和と改元されました。六四五年の大化から数えて二四八番目の元号になりました。

この度の御代替りにあたっての世の中の雰囲気は、神職として毎年ご奉仕する真夜中の元旦の初詣風景に重なりま



す。大晦日の夜更けに境内に多くの参拝者が集まります。年明けの瞬間を待つ人々は、一年の終わりを名残惜しみな

がらも新年への期待に包まれているように見えます。

そして十二時に太鼓の合図が年明けを知らせると、歓声を上げる人、新年の挨拶を交わす人、心をこめて新年のお参りをする人など瞬く間に晴れやかな空間に変わります。まるで境内の灯が自然に明るさを増したようです。日にちをまたぐという意味では他の日と変わりないはずなのですが、毎年年明けの瞬間に全ての人の「時」が切り替わったと肌で感じられるのです。御代替りにあたっての今の雰囲気はこれに似た印象を受けます。

繋がる日本の歴史と文化がもたらした恩恵といえましょう。

先祖から受け継ぐ文化は令和の文字からも感じられます。

由来は『万葉集』巻五の序文ですが、漢字一文字ずつに様々な意味があります。

「令」は良い、命ずるの他に「おきて」の意。奈良平安時代に法治国家を築いた日本の国作りの基盤となったのは「律令」すなわち法律でした。

「和」とは調和する様子の意。古代に聖徳太子が制定した十七条の憲法第一条に「和をもつて貴しとなす」(政治は和やかな状態で話し合い、事を進めよ)と定められています。このような漢字の一字にも日本の文化と歴史の積み重ねを感じる

ことができます。令和の御代が全ての人にとって素晴らしい時代となるようご祈念申し上げます。

令和元年

お祭りの日程

夏祭 秋祭

七月二十七日(土)二十八日(日)
十月二十六日(土)二十七日(日)

本殿拝殿等改修事業

令和二年二月から同四年二月まで

平安末期文治元年(一一八五)の創建以来、当社は人々の篤い信仰を受けてきた。十六世紀に豊臣秀吉や江戸幕府により大阪城の鬼門守護神として社殿境内が整えられ、十八世紀末には祠官廣淵肥後守義直(現宮司の祖先)が衰微した社殿境内を復興しました。

現在の本殿は昭和十一年、拝殿は昭和五年に建築され、当時の有名建築家・池田谷久吉により設計監督された貴重な社殿です。昭和五十年代に本殿塗り直し、拝殿屋根葺き替えをしました。が、建築から約九十年経った今では大変傷みが激しくなっています。この貴重な社殿を百年先の更なる後世に残すために、当社では令和二年二月より「本殿拝殿等改修事業」を行います。



【右】昭和十一年建築当時の本殿。美しい極彩色の社殿は伝統的技法による塗り【下】本殿の棟上式の様子

本殿銅板屋根葺き替えや拝殿一部解体修復など大掛かりなため、約

二年の工期を予定。期間中の各祭典や奉賛活動は社報や掲示でお知らせします。本事業が御神徳の高揚発展と氏子崇敬者様にとって素晴らしい機会になるよう鋭意努力しますので、ご理解ご奉賛の程よろしくお願ひします。



祈祷案内

初宮詣 七五三詣
家内安全 厄除
病氣平癒 自動車祓
改築・転宅清祓
地鎮祭など出張祭典

【お電話ご予約を】
06(6951)2196